



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年4月11日 第1号

校長 酒井 元治

島から日本一楽しい学校を

7年ぶりの小値賀です。大好きな小値賀に校長として帰ってきました酒井です。平成17年度、18年度に斑小学校に最後の教頭として赴任、斑小学校閉校後、20年度までの2年間を大島分校教頭として勤めました。豊かな自然と人情味あふれる、挨拶が素晴らしい、そして、日々飲み明かした小値賀のことは、佐世保にもどっても様々な機会にこの島の良さ、温かさを口にしていたものです。その小値賀にまたこうして赴任させていただけるなんて、なんともすてきな縁を感じます。

来島してすぐにいろいろなところを回りました。斑小学校には、閉校記念に植樹した7本の桜がしっかりと根を下ろし、数輪の花を咲かせていました。相も変わらずお元気で、情の厚い方々にもたくさん会いました。私が今回住むことになった丘町の住宅には、なんと私自身が11年前に持ち込んだ冷蔵庫と洗濯機が待っていてくれました。見るもの、聞くもの懐かしいやら、びっくりやら。

その中でも、何と言ってもびっくりしたのはこの校舎！きれいで、よく考えられた、素晴らしい校舎はこれまで見てきた学校の中ではナンバー1でした。おおよそ長崎県1のすばらしさではないかと思えます。前回私がいたときには、青写真もはっきりしていなかった校舎がこうやって現実になっていようとは…。小値賀のみなさんの「島の子どもは島で育てる。」といった強い思いを



感じました。子どもたちの未来にける並々ならぬ思いを感じました。

私の思い出話はこれぐらいにして、このすばらしい校舎の中でめざすのは「**日本一楽しい学校**」です。何を基準に「日本一」なのか？子どもたちが「ぼくの学校、私の学校、日本一」と自慢ができる学校にしたいと思います。子どもたちが**大人になった未来で誇れる学校**をめざします。

大人になった子どもたちがこの地を離れたとき、「**ぼくの学校、私の学校は、最高の学校だったよ。最高の仲間がいて、こんなおもしろい先生がいて、そして何より最高に温かい地域に包まれた日本一楽しい学校だったよ。**」と未来で誇れる、そして、この子たちの一人でも多くがこの小値賀の未来を担うために帰ってくる、そんな学校をめざします。

始業式で

28年度最初の始業式では次のような話をしました。

1 新しい年度とは？

新しい友達が来る。新しい先生が来る。そして、新しい学年になる。

2年生は新入生が入ってきてお兄ちゃん、お姉ちゃんとしての役目が出てくる。

3年生は、理科や社会といった新しい勉強が始まる。

4年生は、クラブ活動が始まり、委員会活動では学校全体のために働くことが出てくる。

6年生は、文字通り学校のリーダー。この学校の伝統を引継ぎ、新たな伝統をつくっていくのも6年生。伝統とはどんなものなのか考えてみよう。

5年生は、6年生のサポート役。6年生とともにこの学校をつくっていく大切な役目。5年生のサポートがないと6年生はリーダーとしての仕事ができない。

(裏面に続く)



2 「日本一楽しい学校」をつくるためには

前述したように、小値賀小は県内360ほどある小学校の中でもたぐいまれなすばらしい校舎。その中でめざすのは、「長崎一」ではなく、「日本一楽しい学校」。みなさんが自慢できる学校。何を自慢するか？

○仲間が自慢できること

○先生が自慢できること

(この部分は私たち教師の努力が必要。このことも子どもたちに伝えました。)

○小値賀が自慢できること

その中でみなさんに頑張ってもらいたいこと

① 静かにするところ、元気よくするところ、 その中でしっかり勉強

教室の移動、集会で待つとき、掃除、授業中考える時間、楽しい学校づくりには静かな時間と落ち着きが必要。



② 友達のいいところを見つけられる人になること

自慢できる仲間づくりには、人を認めること、人に認められることが必要。
けんかしても仲直りできること。人を許せること。



③ 感謝できる人になろう

みなさんの周りには、みなさんのためにいろいろなことをやっている人がいる。給食の調理員さん、用務員さん、事務の先生、そして、小値賀の人たち。何をしてくださっているかを見つけ感謝できる人になろう。
みなさんは、大人になるための練習をしている。しっかりした大人になるためには、言葉遣いも必要。目上の人に「タメ口」はダメ。「感謝できる人」にはつながらない。

3 ここまで話して担任発表。

「みなさんといっしょに日本一楽しい学をつくる先生を紹介します。」と言った後、大画面で担任の先生を紹介しました。

終わりに、「みんなで日本一楽しい学校をつくっていきましょう。」というと、みんな声に合わせて元気よく「はい！」という返事が返ってきました。この1年がとても楽しみです。

日本一楽しい学校をつくる職員の紹介

小値賀小学校

1年1組	久米 琢	2年1組	原野 愛子
3年1組	長谷川 恵子	4年1組	宮崎 浩二
5年1組	千葉 秀紀	6年1組	茂山 康代
ひまわり	川原 秋子	4~6年理科	松田 健之
養護教諭	竹添 明日香	栄養教諭	近藤 けい子
事務主査	渡部 宣昭	用務員	田頭 さおり
教頭 3~6書写	橋本 淳	校長 草刈り他	酒井 元治

小値賀中・北松西校からの乗り入れ

5・6年 音楽	平井 春那 (小値賀中より)	全学年 外国語	Karina L Martin (北松西校より)
------------	-------------------	------------	-----------------------------

大島分校

1・2年	斉藤 祐三	6年	濱田 順子
養護教諭	神川 美代子	教頭 (理科・書写・図工)	柴田 泰徳



12名の入学です

7日(木)、小値賀小10名、大島分校2名のぴかぴかの1年生を迎え入学式を行いました。式では、やはり「日本一楽しい学校」にするために1年生にがんばってもらうこと。

- ① 毎日安全に学校に来て、楽しい思い出をいっぱいランドセルにつめて帰ること。
 - ② 立派で、格好いいお兄ちゃん、お姉ちゃんになるために自分でできることを増やすこと。
 - ③ 友だちを許せる人になること。
- を話しました。翌日、8日(金)1年生の下校の時に、「今日は学校楽しかった？」と聞くと、ある子は「楽しいに決まってるじゃあない！」と返事。何とも嬉しい反応です。



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年4月19日 第2号

校長 酒井 元治

お世話する側、される側



始業式、入学式も終わり、順調に学校生活も始まりました。小値賀小は10名、大島分校は2名の新入生を迎え学校らしく賑やかな毎日です。

1年生が登校すると、6年生が教室にやってきて、ランドセルや学用品のしまい方を教えています。しばらくするとストレッチ運動の時間。本校では、子どもたちの運動能力、

柔軟性の向上、体を動かすことでの脳の活性化をねらって、毎日ストレッチ運動を取り入れています。ここでも6年生の出番、運動のやり方を1年生に教えて横で一緒に運動。何とも言えず温かくて優しい眼差しで教えています。教えられる1年生も素直な笑顔で運動。微笑ましいひとときです。

また、朝の登校時にそれぞれの通学路の様子を見に行くと、1年生の歩調に合わせて連れってくる5・6年生の姿があります。1年生はときどき「ふう～」とため息をもらし、先頭の高学年はときどき後ろを振り返りながらの登校風景です。高学年としてはもう少し速い歩調で歩きたいという思いもあるでしょうが…。中にはピーピー豆(カラスノエンドウ)の鳴らし方を教えながら連れってくる6年生も。とてもいい光景です。登校している子どもたちを見かけられたら、がんばって歩いている1年生やがんばって連れ込んでいる高学年に声をかけていただければ幸いです。

お世話する側、される側、こうやってコミュニケーションを図りながら、他人とつきあう力、リーダー性、思いやりの心、様々な力を養っています。集団で育てるという学校教育のよさがここにあります。



濡らさない親心 濡らす親心

先日、高学年の授業参観の日、天気予報通り子どもたちが帰るころに大雨になりました。風はそれほどではなかったもののけっこうな雨でした。見ていて良かったのは、お迎えが少ないこと。高学年の授業参観に見えられた保護者の方は仕方ないのかもしれませんが、その他の子どもたちにお迎えが少ないことはいいことだと思いました。こんな大雨だと、つい「濡れてかわいそう。」と思うのも親心です。しかし、濡れて気持ち悪い思いをするのも子どもたちにとっては大切な経験です。そして、子どもたちのたくましさを育てる場面です。

保護者のみなさんが小学生のころ、図工で使う糊はどんなものでしたか？黄色い円筒形の容器に入った指先ですくって使うような糊ではなかったですか？（ううん、使ったことがないとなる若い！）この糊今はあまり見なくなりました。この糊を使うとき、昔は平気で手ですくう子が多かったのですが、だんだん手に付ける「べたべた感」をいやがる子が増えてきました。世の中の様々なものが清潔志向になっているからです。ちょっと汚れること、ちょっとべたべたすること、ちょっとぬるぬるすることを嫌がる子が増えてきました。このようなことから、過剰な清潔志向が生まれ、ちょっと汚れた服装をした子、ちょっと古い場所、お年寄りなどをさげすんだ目で見ると増えてきたこととも何か関係しているように思えます。差別やいじめを生んだり、都会のニュースでときどき耳にする「ホームレス狩り」や「オヤジ狩り」などに影響したりしているようにも感じます。



大雨で濡れた心地よくない体で帰るからこそ、家で着替える乾いたシャツの温かさに幸せを感じます。濡れた髪をぐしゃぐしゃにしながらタオルで拭いてくれるお家の方の手に愛情を感じます。

まもなく梅雨の時期を迎えます。雨の登校でランドセルに入れてあった替えの靴下やシャツは、快適な車の中より温かく、親の愛情を感じるように思います。（もちろん、子どもたちが危険にさらされる可能性がある場合は別です。）

小・中・高一貫教育



今年度転入してこられた方や1年生の保護者のみなさんの中にはご存じでない方もいらっしゃるかと思いますが、小値賀町は小・中・高一貫教育を平成19年度から行っています。この「値小だより」や「小値賀新聞」でも広報していきませんが、「島の子どもは島で育てる」小・中・高と小値賀の皆さんが連携した取り組みです。

小・中・高合同遠足

今回はそのスタート、「合同遠足」です。各学校1時間程度の歓迎行事を学校で行った後の出発です。小学校では体育館で「歓迎集会」を実施しました。1年生を花のアーチで迎えた後、各学年の歌や手作りのプレゼントでおもてなし、全校合唱といった簡単なメニューです。1年生もにこにこ顔になったところでいよいよ小学校の運動場に小・中・高の児童・生徒が全員集合。小学校5・4・3・2年、中学校2・3年、高校2・3年の順で歩き、その後ろを小1と6年が手をつないで、続いて中1、高1で前浜公園まで行きました。現地ではそれぞれの学校の1年生を他の学年が拍手で迎え、小・中・高の1年生、そして転入職員の紹介です。



小学校1年生が「ぼく（わたし）の名前は〇〇です。好きなものは△△です。よろしくお願ひします。」と一人ずつしっかり挨拶。みんなから温かい拍手をもらっていました。中・高の1年生はやはり中・高生らしくいわゆる一発芸をしたり、踊ったり、「さすが」と言わせる内容で小学生も楽しんでいました。次に全員での「じゃんけん列車」、そして、お弁当と自由時間。どの場面でも中・高生に混じった小学生の姿。遊びでは手を抜いてやる中・高生のやさしさが光りました。

私がいた平成19年に始まった合同遠足。こうやって、しっかり合同行事として根付き、子どもたちの成長にひとときの潤いを与えているのを嬉しく思いました。

行事予定（4～5月）

月	日	曜	行 事
4	19	火	全国学力学習状況調査（6年） 県学力調査（5年） 家庭訪問(浜津、大浦、柳、斑)
	20	水	聴力検査（3・5年） 田植え(5年) 家庭訪問（相津、筒井浦、前方後目、木場、牛渡、唐見崎、中村、松香丘）
	21	木	聴力検査（1・2年） 家庭訪問（笛吹東、宮崎町）
	22	金	避難訓練 P T A総会 19:00～（多目的室） 家庭訪問（小浜町、笛吹中央、黒島、笛吹在、笛吹西）
	25	月	2種混合予防接種(6年)
	28	木	心電図検査(1年)
5	6	金	N R T学力検査
	10	火	耳鼻科検診（全学年）
	11	水	内科検診(全学年)
	20	金	歯科検診(全学年)
	29	日	運動会
	31	火	運動会予備日(給食なし)



運動会予備日31日(火)は、29日(日)の運動会実施、延期にかかわらず給食はありません。お弁当をお願いします。

理由は、29日(日)が雨天になって給食の物資を止めようとするとき、2日前では間に合わないからです。給食の物資は1ヶ月以上前から島内外に発注をしており、全ての搬入を中止するのに数日間を要します。そのため、このような行事の予備日にはあらかじめ発注を止め、お弁当持参をお願いするかありません。ご理解の上、ご協力をお願いします。



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年5月2日 第3号

校長 酒井 元治

食に感謝！

4月18日(月)、1年生の給食が始まりました。この日のメニューは当然のごとく

- ・ポークカレー、麦ご飯
- ・コールスローサラダ
- ・ムース、牛乳

でした。「当然のごとく」というのは、

他の地区でも1年生の給食開始時はいつの時代も不動のメニュー「カレー」と相場が決まっているからです。見てみると1年生には結構な量のカレーをどの子ども完食。美味しそうに食べていました。その後も担任の話ではちょっと時間がかかる



る子はいるものの完食で、いわゆる「お残し」は全くないそうです。

昨年6月から始まった小値賀の学校給食ですが、私が前回いた8年ほど前までは開始したときの課題として、「食わず嫌い」があるのではないかとされていました。学校給食が本格実施になると、家庭で出されたことのない食材も使うので、慣れない



食材に苦戦する子どもも多いのではないかと。

しかし、始まってみるとその様子は全くなし。近藤栄養教諭の話でも「これまでお残しは全くない。」とのこと。それに全体的にマナーがいい！きちんと茶碗を持って、箸もちゃんと使いながら食べている子どもが多いのに感心しました。ご家庭でのしつけのよさを感じます。

さて、この記事を書いている日のメニューは次の通り。

- ・ごはん、野菜椀、牛乳
- ・さんまの梅煮
- ・アーモンド和え

このメニューに野菜が何種類使われていると思いますか？

なんと7種類。

白菜、タマネギ、シメジ、ゴボウ、ニンジン、ホウレンソウ、モヤシ
おまけにクラッシュアーモンドで味付け。野菜椀は小値賀の昆布でだしを取っているという手の入れよう。家庭でこれだけの種類の野菜を使って一食のメニューを作ることがあるのでしょうか？
単身赴任の私は普段自炊をしています。できるだけ野菜をとろうと思ひ作りますが、せいぜい3種類がやっとです。美味しく食べられること、栄養のバランスを考えてあること、多くの食材をいただけることに感謝です。



イラストはイメージです。

きれいな食は一生の宝

このページ、食べることに偏ってしまいました。

「食べる」というのは口に食材を運ぶだけでなく食のマナーを身につけるとのこと。

もう20年ほど前に亡くなった祖母と同居していた私は子どもの頃によく食事のマナーについて注意されていたものです。「脇に生卵を挟んでいるつもりで食べんば！」

肘を広げすぎるとみっともない、横の人に迷惑がかかるということを祖母は例えてこう言っていたものです。(この話、昔「分校だより」で使ったことがあるので覚えていらっしゃる方もあるかも。)今でも、つい行儀が悪くなったときに、ばあちゃんの声が聞こえそうな気がします。

給食の様子を見て回って、口にもものを入れたまま私に「先生！」と話しかけてくる子には「将来ね、デートのときにそんなことしよったらふられるよ。」と声をかけているところ。小値賀の子どもたちには、デートで相手に好印象を与えるようなマナーを身につけさせたいものです。(^^)/~



小・中・高一貫教育 乗り入れ授業

小・中・高一貫教育では、それぞれの校種の職員が別の学校に行き、授業のお手伝いや授業そのものを行う乗り入れ授業を行っています。小学校に来ていただいているのは、中学校音楽担当の平井先生と外国語活動のカーリーナ先生です。そして、小学校から行っているのは、松田教諭です。今回は音楽の平井先生の授業から。



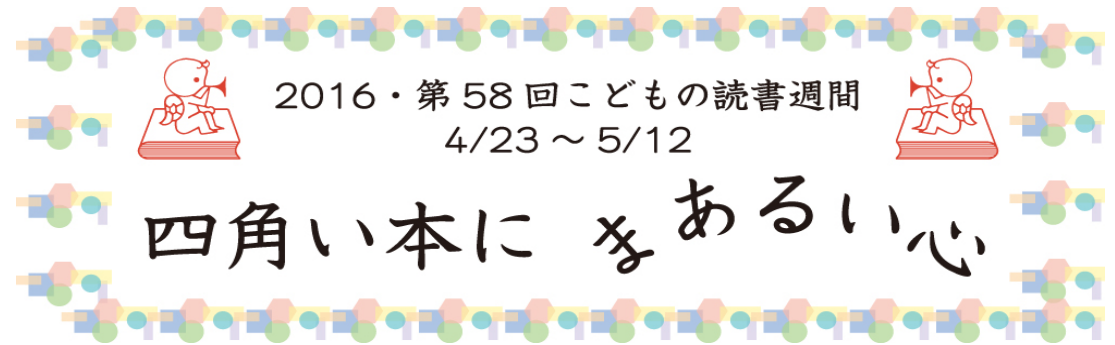
平井先生は、5・6年生の音楽にTT（ティーム・ティーチング）として入ってくださっています。TTというのは、1時間の授業を複数の教師で指導する指導形態のことです。

この日、平井先生は5年生の音楽に入ってもらいました。5年生に2部合唱の指導です。最初は一斉に高音パートを歌っての声出し。その後、ピアノの周りに子どもたちを集めて、高音パート、低音パートに分けての練習。そして、いよいよ2部合唱。音取りが下手な私も子どもと一緒に歌わせてもらいました。（子どもたちレベルです。）小学校の教員はどの教科でも指導して当たり前ですが、その専門性ではもちろん中学校、高校の先生にかないません。専門的なアドバイスが子どもたちの歌声を変えていきます。

また、さらにいいのは、平井先生が笑顔で子どもたちに声をかけてくださること、教師が複数いて子どもたちにたくさんの声をかけられることです。1年生から6年生まで学級が変わることなく同じメンバーで過ごさざるを得ない子どもたち。こうやってより多くの人と関わることで、音楽という授業を通して人の温かさや、他人との付き合い方を身につけていくはずですよ。

校長室に前任の魚屋校長先生が残してくださったのでしょうか。「人は人を浴びて人となる。」という言葉があります。正にその通り。小学校の職員だけでなく、一人でも多くの先生方に関わっていただいていることに感謝します。

ううん、こんな授業だったら私ももうちょっと歌が上手になっていたかも…。



四角い本にもあるいい心



4月23日から5月13日は子ども読書週間です。子どもたちにもっと本を！との願いから「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにもとても大切なことです。本はたくさんの知識を与えてくれたり、想像力や集中力も育ててくれたりします。

また、「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。

本校では、日頃から読み聞かせボランティア「たんぽぽ」のみなさんによる朝の読み聞かせをしていただいています。また、先日からプリントを配布し、親子読書を推進しています。どうぞ

お子さんといっしょに本を読んだり、読み聞かせをしたり、本を話題に家庭でのひとときを過ごし、親子で本の世界に浸ってみてください。私も、小値賀に来て、出張の行き帰り、あるいは帰省時のフェリーの中で本を読むことを楽しみにしています。



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年5月24日 第4号

校長 酒井 元治

5月に入って、ずっと出張続き。学校で真面目に仕事をしているのは週に1・2日程度。学校、空けてばかりの校長です。_(^)_ と、言うわけで久しぶりの学校だよりです。

運動会、目前！

いよいよ、運動会まで5日。学校の行事で間違いなくお客さんが一番多い一大イベントです。

運動会はもちろん体育の授業の一貫ではあるのですが、



全校児童が一つのものをつくりあげる、精一杯自分の力を出し切る、そんなところに行事としての意味があります。

高学年がリードしみんなをまとめる応援合戦。入学したての1年生が一生懸命足並みをそろえようとしている入場行進。裏方として競技を支える係活動。そのどれをとってみても子どもたちが、これからの社会を生きていく上での様々な訓練、練習の要素が詰まっています。

今年の運動会スローガンは

チームワークで 勝利の道へ つきすすめ

紅組・団長 大久保 綾美 さん 白組・団長 北野 悠矢 さん

声をからして、全校児童をリードしています。当日にご期待ください。

日本一楽しい学校をつるために ～その2 人とつきあい上手になろう～ 全校朝会での話

「その1」は始業式での話なので、今回の私の講話は「その2」。

話はちょっと前にさかのぼって、着任式。私と子どもたちとの初めての出会いです。私は、子どもたちに「みなさんと早く仲良くなりたいので、私の秘密を一つ話します。(右の掌を見せて) 私の右手の中指は、見ての通りちょん切れてちょっと短いんです。ずいぶん前、好きだったバイクをエンジンかけながら手入れしていて、チェーンで切ってしまいました。今日、体育館を出るときは、この右手と握手してくれませんか？」と自己紹介をしました。始業式後、66名〈このときには1年生がまだ入学していなかったの。〉全員と握手。中には、「痛くない?」「こわい!」という子もいました。

さて、それから数日、私が校内をうろちょろしたり、授業の様子をのぞいたりしていると、ところ構わず「先生、指見せて!」。実は、今までの経験から「そうくるだろうな。」とは予想していました。これこそ、指導の機会。子どもたちに画像やイラストを見せながら、「なんかこの場面おかしくない?」と尋ねると、案の定「言葉遣いがおかしい。」「授業中に声かけるのがおかしい。」との答え。さすが、小値賀っ子、よく気づきました。

その後、佐藤真海さんを紹介。滝川クリステルさんと共に東京オリンピック招致の立役者となった「義足のロングジャンパー」です。「世の中にはいろいろな人がたくさんいる。先生の指を見て、『こわい』と思うのは正直な心でいいと思う。しかし、この佐藤さんのような人に、『こわい』と言ったらどうだろう。指がない人も、足がない人も、『ああ、こんな人も世の中にはいるんだな。』と普通に思える人になってほしい。そのために、私はみなさんに自分の指を見せます。でも、時と場、言葉遣い、そして、『ありがとうございました。』の言葉はほしいな。」

(ここまでは、障がいを持った人や他人、とりわけ大人への礼儀。)

裏面へ



日本一楽しい学校をつるために ～その2～ 人とつきあい上手になろう～

さらには、「みんなの中にはよく注意される人いない？この人にみんなが注意するとどうなると思う？きつこうなるよね。(右図)でもね、こういう人を怒らせずに付き合うというのも大切なお付き合いの方法です。だって、みんなは小さいときから学級の友だちを知っているんだから。友だちの性格を知ってるんだから。小値賀小は人数は少ないけど、そんなところでは、大人になるための練習が十分できる場所です。この、いらいらしがちな子、自分の考えをしっかりと持った子かもしれないから、周りが上手に付き合うと会社の社長さんや、博士にだってなれるかもしれないよ。」



「注意してばかりの女の子、この調子でいつも怒ってばかりだと、こんな大人の人になるかも。(左図)おつきあい上手になるとこんなになるかも。(右図)」子どもたちからは「うそだ～！」と笑い声。「違うんですよ。だって、顔の表情はそれぞれの性格でつくり出されるものですからね。」



さらにさらに、「小値賀小学校には『ひまわり学級』というクラスがあります。みんなの中にも問題を解くのにちょっと時間がかかるなという人いないですか？ここは、そんな人たちに合わせて、ゆっくり勉強したり、ちょっとした工夫をしたりして勉強するスペシャルなクラスなんですよ。」

みんな違って当たり前。AKBが全員『指原莉乃』だったら気持ち悪いよ。

野球選手がみんな『ダルビッシュ』だったら試合にならない。陸上選手がみんな『ボルト』だったら、オリンピックなくていい。もうすぐ、運動会です。速い人がいて、走るのが苦手な人がいて、応援する人がいて、リレーができるんです。みんな違って当たり前なんです。』
(ここでは友だちとの付き合い方)



最後は、『トム クルーズ』。(話の前段で『私の昔の写真です。』と冗談を交えて写真を使ったのですが。)



「この人誰だか知っている？」6年生の森岡君が「トム クルーズです。」と発表。「そうです。世界でもトップクラスの俳優『トム クルーズ』さんです。彼がある障がいを持っていたのを知っていますか？『失読症』という障がいです。みんなは、本を読んで何が書いてあるかだいたいわかるよね。でも、彼はそれができない。俳優の仕事をするためには、脚本という厚い本を読んでセリフなんかを覚えなくちゃいけない。そんなことができなかったんです。なんと、小・中学校12年間で15の学校に通うことになった、つまり、転校したんですね。みんなが人のおつきあい上手になると、この中から『トム クルーズ』さんみたいな世界的な俳優さんが出てくるかもしれないよ。」

(シメは人との付き合い方でいろいろな可能性が生まれるということでした。)

さて、小値賀っ子からは、『トム クルーズ』に継ぐような俳優さんが出てくるのか、社長さんが出てくるのか、はたまた博士か？何にしても、友だちを含む周囲の接し方で子どもたちの可能性をつぶすこともあれば、伸ばすこともできます。ありったけの可能性を持たせたいものです。「絶対になれない。」なんてことはないんですから。

「日本一楽しい学校をつくるための～その2～」でした。「あしたのジョー」みたいですが(若い保護者さんはわかるかな?)、「その3」は何にしようか考え中です。(^^)~~~~



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年6月2日 第5号

校長 酒井 元治

天気に試された運動会！



予定通り29日(日)に開催することができた運動会、なんとも天気に悩まされました。教頭、体育担当の久米、教務主任の松田、そして私が学校に来たのが5時過ぎ。雨が降る気配もなく、予報では9時頃に1～2mm程度の小雨の予報。「よおし！予定通り行こう！プログラムもそのまま。」と判断したのが5時半。その後、職員とラインを引いたり、準備物を出したりして6時の町内放送。ご存じのようにこの放送が終わったとたんに雨。一度は止んだので、運動場にたまった水をタオルに吸わせたりしていたのですが、またもや雨。しばらく待つと止むかなと思いきやしぶとく降り続けました。運動場にみるみるたまっていく雨水を眺めながら、「校長先生、待ちますか？」「中止しますか？」「体育館運動会も？」と様々な投げかけが職員からもあり、「今日しか来れんという保護者もいますよねえ。」という情報もあり、思案しながら、「よし、ともかく体育館で午前中実施。走競技は体育館では危険だから、午後運動場が使えるようであれば、運動場、使えなければ予備日の午前中に回す。」

と判断したのが7時過ぎでした。



運動(ダンスや組み体操)に限っては、フロアからの写真撮影を許可しましょうか?という申し出をする職員もありました。自分の係として、または様々な方面から動いてくれたり、アイデアを出してくれたりした本校の職員でした。手前味噌ですが、うちの職員もなかなかやるでしょう!なるほど、よく言われることですが、責任者が現場で陣頭指揮に当たるといのは、こんな意味があるんだとよくわかりました。私が校長室にいたのでは、職員の提案に対する判断が遅れ、アイデアがあっても実現しないということになってしまいます。

さて、子どもたちも全く予期していなかった体育館での運動会。競技の勝手も係の動きも練習とは違っていたのですが、よく動きました。見ていてさほど遅れたり、戸惑ったりすることはなかったように思ったのですが、ご観覧くださった保護者・地域のみなさんはどう感じられましたか?後日、高学年の子どもたちに次のようなことを話しました。

「いくら練習していても、練習通りにできないということは世の中では多々あること。臨機応変というのはそんなことを言います。そんなときこそみんなの力や協力することが試されます。そのための練習でもあります。今回の運動会よくみなさんが動いていた。だから、運動会が成功したんです。」

またまた、手前味噌ですが、うちの子どもたちもなかなかやるでしょう!



中・高生に感謝！

そして、何と言ってもありがたかったのは、中学校・高校の先生方と中学校野球部、高校野球部のみなさんの協力でした。体育館で午前中の競技を行いながら運動場の様子と空模様を絶えず観察し、午後の競技ができるかどうかを考えていました。天気としてはどうにかいけそうだけど、問題は運動場の状態。水たまりもあちこちにできていて、このままでは子どもたちが滑って転びそうでした。

そんなときに手伝ってくださったのが、中学校・高校の先生方と中・高双方の野球部でした。高校から運動場の水を吸い取るためのスポンジを持ってきてくれて、たくさん的人数で運動場の雨水を吸い取ってもらいました。おかげさまで、昼休みの間に準備完了。午後の競技が実施できたわけです。

いやな顔一つせず、すばやく作業をしてくれる中・高生の姿がどんなに頼もしく、やさしさに満ちあふれたものであったことか。小値賀の温かさと、小・中・高一貫教育の成果を感じました。

中・高生のみなさん、小学校の運動会ができたのは、あなたたちお陰です。本当にありがとうございました。あなたたちの姿は、小値賀の誇りであり、小学生に見せてくれるすばらしい背中です。心より感謝します。



運動会・しめくり(終わりの言葉)

今回の値小だよりは運動会特集になりました。締めくりは、すばらしかった終わりの言葉です。(写真は違ってごめんなさい。)

6年 川口 真歩さん

みなさん、雨の中での運動会はどうでしたか？特に6年生のみなさんは最後の運動会でしたが、自分の力を出

し切って最高の運動会にすることができましたか？保護者のみなさん、地域のみなさん、最後まで温かい応援ありがとうございました。

私にとって今日の運動会は思い出に残る最高の運動会でした。特に私が気合いを入れてがんばったのは「応援合戦」です。なかなかアイデアが出なかったのですが、5年生と協力して応援歌を完成させることができました。完成後にも自分たちが納得のいく応援歌ができるように話し合っ、元気のよい応援歌をつくることができました。他にも朝や昼休みを使って1・2年生に教えに行きました。思うようにできず、とてもたいへんなこともありました。

でも、それを乗り越えて今日は1年生から6年生が一丸となり、赤も白も迫力のあるすばらしい応援ができました。応援だけでなく、私は自分が出た種目全てを全力で取り組むことができました。

小学校生活最後の運動会、とっても悔いのない最高の運動会でした。来年の運動会では今の5年生を中心にみんなと助け合っ、今年のように盛り上がるようにがんばってください。





値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年6月 8日 第6号

校長 酒井 元治

小値賀らしい授業が始まります！

ご存じの方も多いと思いますが、小値賀町は小・中・高一貫教育を行うにあたって、教育課程特例校の認可を受けており、国の基準とはちょっと違った教育内容を行うことができるようになっています。

その中に、小値賀ならではの素材、人を生かした、「グローアップ科」「遣未来使学」があります。小・中・高の12年間を見通して、郷土学習から国際化・情報化に対応し主体的に生きるスキル（技能）を習得させるのが「遣未来使学」、心の内面に根ざし道徳教育を主軸とした人間としての在り方、社会人としての生き方を追求する生き方教育が「グローアップ科」です。それぞれの内容には小値賀ならではの素材がたくさん盛り込まれています。

畑の先生は担い手公社のみなさん



まずは学校から道を挟んだところにある畑での栽培活動です。1年生と6年生は芋さし、2年生は枝豆とカボチャ、3年生は落花生、4年生はマクワウリとオクラを植えました。担い手公社のみなさんのご指導でマルチ栽培をしたり、カラスよけのひもを張ったり、作物によって植え付けの仕方を変えての栽培です。

5年生はすでに4月にやはり担い手公社の方にお世話になって田植えを行ったところです。

どの作物も小さな一粒の種やひょろっとした1本の茎から、あるものは子ども

たちの背丈を超えるぐらいの高さになりいくつもの実を付け、あるものは長く地べたを這い大きな芋をつけたり、鈴なりの落花生をつけたりします。なんとも生命の不思議を感じます。日本人が太古より営んできた大地の恵み、古の人々の知恵を学んでいます。



磯の先生は産業振興課・ITのみなさん



左の写真は4年生の「テングサ採り」です。ご指導くださるのは産業振興課とIT（アイランド・ツーリズム）の方々です。事前に小値賀で見られる磯の生き物をユーモア、笑いも交えながら説明していただきました。

そして、いよいよ磯へ。保護者のみなさんのお手伝いもあって、ナマコ捕りにはまる子どもたちをたしなめながら

採取。とってきたテングサは洗って乾燥させることを繰り返し、煮詰めてところてんにします。決して豪華とも言えない素朴な味を、多くの手を加えてつくり出そうとする先人の知恵と実直さを体験を通して学んでいきます。

そして、小値賀らしいのが、こうやって学校外の方々が多く関わってくださること、異年齢の交流があることです。外部の方に関わっていただくことで、いつも少ない人数の中で学習している子どもたちに普段とは違った人と関わる必要性が出てきます。ここでは、挨拶もしなければいけない、わからないことは聞かなければいけない、礼儀も考えなければいけない。コミュニケーションの能力を培うよい機会となります。

また、外部の方が入ってくださるお陰で毎年同じような活動ができます。我々教員も得手不得手があるもの。得意な担任の時には活動が盛んだったが、苦手な担任の時にはあまり活動しなかったでは継続性がありません。長く続いている秘密は外部協力のお陰です。

さらに、芋さしは1年生と6年生の共同作業。ここは6年生のリーダー性や優しさを育てる手立てでもあります。同じ学年だけで活動するより異年齢の活動をくむことで、より多くの副産物を得ようという狙いがあります。

公共の場の使い方



先日、西公園で遊んだであらう子どもたちがゴミを散らかしているとの情報をいただき、早速教頭と生活指導の宮崎が現地を見てきました。行ってみるとその通り結構な量のゴミが散乱。ゴミを拾い、現地の写真を撮って翌日臨時朝会で全校児童に指導しました。

公共の場の意味、みんなが気持ちよく使うための気配りとはどんなものか。どうして約束事があるのか

について考えさせました。いただいた情報には「迅速に！的確に！」をモットーに対応していきたいと思っています。（どうしても、時間を要するものもありますが。）

また、この指導で他に出てきた情報は子どもたち同士でのおごり合いや買い食いの現状。安易に子どもがものを買ってもらい、買ってあげるといのは様々なトラブルにつながったり、好ましい金銭感覚を養うことができなくなったりすることになります。学校では保護者のみなさんのご意見も頂きながら、「くらしのきまり（仮称）」のようなものをつくり、地域での過ごし方のマナー等も指導していきたいと考えています。

たくさんのご支援ありがとうございます



学校では様々な団体にいろいろなご支援をいただいています。左の写真は毎年、年度始めに雑巾をいただいている写真です。婦人会のみなさんが子どもたちのためにと縫ってくださったたくさんの雑巾は毎年、学校の美化にたいへん助かっています。

右の写真は、親和銀行小値賀支店さんから、ペットボトルキャップをいただいているところです。PTA活動の一環として取り組んでいるペットボトルキャップ回収にご協力いただいています。



行事予定（6月）

月	日	曜	行 事
6	8	水	眼科検査（全学年） 分校交流
	9	木	歯の集会 新体力テスト（全学年 2・3校時） わかめ班活動（4校時）代表委員会（6校時） 分校交流
	10	金	ところてん授業（4年 5校時）
	11	土	中体連開会式
	13	月	大島分校教育週間（～17日）
	14	火	消防署・警察署見学（4年）
	15	水	給食費集金日
	16	木	児童集会 クラブ活動
	17	金	アジカまぼこ授業・準備①（小3・中3）
	20	月	公開授業ウィークス（～7/1） プール開き アジカまぼこ授業・準備②（小3・中3） PTA バレー練習
	22	水	日本脳炎予防接種（3・4年 13:10～）ALT交流 たんぼぼ読み聞かせ PTA バレー練習
	23	木	音楽集会 PTA役員会
	25	土	PTA 親睦球技大会 心肺蘇生法講習会
	27	月	教育週間スタート 全校朝会・校長講話（いのちについて） アジカまぼこづくり（小3・中3） 2～4校時
	28	火	青少年劇場（寄席）
	29	水	たんぼぼ読み聞かせ 授業参観（道徳1・3・5年） 懇談会 小値賀焼体験（6年 2・3校時）
	30	木	授業参観（道徳2・4・6年） 懇談会

6月は、公開授業ウィークス、教育週間もあり、様々な行事等が予定されています。授業参観だけでなく、いろいろな活動をご覧ください。いつでも、誰でもOKです。（それぞれについての詳しい案内は別紙にてご覧ください。）
28日（火）は、青少年劇場としてプロの噺家を招いて寄席が開催されます。伝統的な話芸で笑いませんか？

30日（木）の授業参観・6年生は、私（酒井）が授業をします。（^_^）v